

# 令和7年度 一般選抜入学試験（前期）

## 小論文

### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は表紙を含めないで3ページあります。解答用紙は3枚です。  
下書き用紙は1枚あります。  
試験中に、問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 3 試験開始の合図があつたら、まず、すべての解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。
- 4 解答はすべて解答用紙のそれぞれの解答欄に記入してください。
- 5 試験時間は90分です。
- 6 解答用紙は記入の有無にかかわらず、持ち帰ってはいけません。
- 7 この問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

次の文章を読んで問いに答えなさい。

見えない体に変身したいなどと言うと、何を①フキンシンな、と叱られるかもしれません。もちろん見えない人の苦勞や苦しみを軽んじるつもりはありません。

でも見える人と見えない人が、お互いにきちんと好奇の目を向け合うことは、自分の盲目さを発見することにもつながります。美学的な関心から視覚障害者について研究するとは、まさにそのような「好奇の目」を向けることです。後に述べるように、そうした視点は障害者福祉のあり方にも一石を投じるものであると信じています。

ではいったいどのようにして「見えない体」に変身すればよいのか。そんなの簡単だよ、視覚を遮ればいい、目をつぶったりアイマスクをつければいいじゃないか、と思われるかもしれませんが。

いいえ、視覚を遮れば見えない人の体を体験できる、というのは大きな誤解です。それは単なる引き算ではありません。見えないことと目をつぶることとは全く違うのです。

見える人が目をつぶることと、そもそも見えないことはどう違うのか。見える人が目をつぶるのは、単なる視覚情報の遮断です。つまり引き算。そこで感じられるのは欠如です。しかし私がとらえたいのは、「見えている状態を基準として、そこから視覚情報を引いた状態」ではありません。視覚抜きで成立している体そのものに変身したいのです。そのような条件が生み出す体の特徴、見えてくる世界のあり方、その意味を実感したいのです。

それはいわば、四本脚の椅子と三本脚の椅子の違いのようなものです。もともと脚が四本ある椅子から一本取ってしまったら、その椅子は傾いてしまいます。壊れた、不完全な椅子です。でも、そもそも三本の脚で立っている椅子もある。脚の配置を変えれば、三本でも立てるのです。

脚の配置によって生まれる、四本のバランスと三本のバランス。見えない人は、耳の働かせ方、足腰の能力、はたまた言葉の定義などが、見える人とはちよつとずつ違います。ちよつとずつ使い方を変えることで、視覚なしでも立てるバランスを見つけているのです。

変身するとは、そうした視覚抜きでのバランスで世界を感じてみるということなのです。脚が一本ないという「欠如」ではなく、三本が作る「全体」を感じるということなのです。

異なるバランスで感じると、世界は全く違って見えてきます。つまり、同じ世界でも見え方、すなわち「意味」が違ってくるのです。

(中略)

とは言つたものの、そもそも「意味」とは何でしょうか。(中略)本書で言う「意味」のニュアンスは、「情報」と②タイチすると明らかになります。

「情報」は、客観的でニュートラルなものです。たとえば、「明日の午後の降水確率は六〇パーセントである」。これはふつう情報として受け止められます。友人の「明日の午後の

降水確率は六〇パーセントだよ」という発言に対して「ありがとう」と言ったら、それは「情報をありがとう」「大事な情報を教えてくれてありがとう」という意味です。

それに対して、たとえば恋人の言う「あなたは石頭だ」を情報として受けとってしまったら、きつと次にくるのは別れの言葉でしょう。これはむしろ感情の③トロです。ここであなたがすべきなのは、メモをとることではなく、恋人の感情に対して、なだめるなり反論するなり、アクションを起こすことです。

報告者が自分の主観を述べたものは情報ではありません。情報とは、報告者の主観を④ハイした、客観的な内容のことを指します（天気予報だって厳密には予報士の「判断」なので、そもそも本当に客観的な情報など存在するのか、という疑問にはここでは立ち入りません）。

しかし、この「明日の午後の降水確率は六〇パーセントである」という「情報」は、受け手次第で、無数の「意味」を生み出します。明日運動会を控えた小学生なら、この情報は「運動会が延期になるかもしれない」ということを意味するでしょうし、傘屋なら「明日は儲かるな」、農家なら「朝の水やりは控えめにしよう」となるでしょう。あるいは災難つづきの一日を過ごした人なら、ここに何かの⑤アンジを読み込むかもしれない。

つまり「意味」とは、「情報」が具体的な文脈に置かれたときに生まれるものなのです。受け手によって、どのような状況に置かれるかによって、情報は全く異なる意味を生み出します。

（伊藤亜紗著『目の見えない人は世界をどう見ているのか』光文社による。ただし、内容を一部省略している）

問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字になおしなさい。ただし、楷書にて正確に書きなさい。

問二 問題文を二〇〇字以内で要約しなさい。

問三 二重線部について、問題文に即して三〇〇字以内で説明しなさい。

問四 波線部について、著者の考える「意味」と「情報」の違いとは何ですか。  
自分の体験や具体例を挙げて、四〇〇字以内で説明しなさい。